

Just Composed 2022 Spring in Yokohama
—現代作曲家シリーズ—オンド・マルトノ
～魂の詩～2022.2.26(土) 16:00開演(15:30開場)
神奈川県民ホール 小ホール大矢素子 | オンド・マルトノ
安達真理 | ヴィオラ
松本 望 | ピアノ

気鋭の日本人作曲家への新作委嘱（世界初演）と過去の委嘱作品の再演を軸とする「Just Composed in Yokohama—現代作曲家シリーズ」。1999年から開催している本シリーズに、日本を代表するオンド・マルトノ奏者の大矢素子が登場。電子楽器オンド・マルトノの魅惑の音を存分に堪能できるプログラムをお届けするとともに、この楽器の持つ可能性に迫ります。

■公演概要

- 名称 Just Composed 2022 Spring in Yokohama —現代作曲家シリーズ—
オンド・マルトノ ～魂の詩～
- 会場 神奈川県民ホール 小ホール
〒231-0023 横浜市中区山下町 3-1 (みなとみらい線「日本大通り駅」より徒歩8分)
※横浜みなとみらいホールは大規模改修に伴い休館中です。再開館は2022年11月を予定しています。
- 日時 2022年2月26日(土) 16:00開演(15:30開場)
- 曲目 メシアン：未刊の音楽帖
藪田翔一：祈りの情景 (Just Composed 2018 委嘱作品/2022 Spring 編曲委嘱 | 初演)
山本哲也：新作 (Just Composed 2022 Spring 委嘱作品 | 初演) ほか
- 出演 大矢素子 (オンド・マルトノ)、安達真理 (ヴィオラ)、松本 望 (ピアノ)
- 選定委員 池辺晋一郎、白石美雪、大矢素子
- 料金 全席指定 3,000円 65歳以上の方 2,800円 障がい者手帳をお持ちの方 2,800円 学生 1,500円
11月16日(火)一般発売 ※未就学児入場不可
- 申込 横浜みなとみらいホール仮事務所チケットセンター ☎045(682)2000 ※11:00-16:00(金土日除く)
- 主催 横浜みなとみらいホール(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
- 助成 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

※当事業の取材・情報掲載をお願い申し上げます。情報掲載の際はお手数ですが事前にご一報ください。

このプレスリリースに関するお問合せ

横浜みなとみらいホール仮事務所

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 4-3-1 PLOT48 ☎045(682)2020 ※平日 10:00-17:00

広報担当：伊藤啓太 事業担当：菊地健一、遠藤れな、飯島玲名

■本事業の注目ポイント

1. 心震わす魅惑の楽器 オンド・マルトノ

1928年マルトノの手によってフランスで誕生した電子楽器「オンド・マルトノ」。鍵盤に加え、その手前に張られたリボンにつけられた指輪をスライドさせて音高を自由に演奏できるのが特徴です。デジタルながら、素材の異なるスピーカーで音色を変化させるというアナログな発音の仕組みを併せ持つことから、魂の詩を奏でる楽器としてジャンルを超えて愛され、劇伴音楽(21年NHK大河ドラマなど)でも多用されています。スピーカーの組み合わせや配置も演奏するうえで重要な要素だけに、是非ライブでその醍醐味を味わっていただきたい楽器です。



★【関連レクチャー動画】「白石美雪による Just Composed 2022 の楽しみ方」公開中！(※視聴無料)

本企画選定委員で現代音楽のスペシャリスト・白石美雪とオンド・マルトノの大矢素子が楽器の仕組みや今回演奏するプログラムなどをレクチャー。公演がより一層楽しめる充実した内容になっています。

<https://mmh.yafjp.org/mmh/recommend/2022/02/just-composed-2022-lecture.php>



2. 横浜から「いま」の音楽が誕生

今回が22回目となる「Just Composed in Yokohama—現代作曲家シリーズ」。気鋭の作曲家への委嘱新作を毎回発表(世界初演)し、「いま」の音楽を横浜から生み出すことが一つの大きな柱になっています。今年の委嘱作曲家はパリやベルギーを拠点に活躍し、国内外でのコンクール入賞経験も豊富な山本哲也。今回の委嘱にあたり「オーケストラやピアノの伴奏がつくソロ楽器として扱われることが多いオンド・マルトノだが、今回はアンサンブルのメンバーとしてのオンド・マルトノの可能性や魅力に近づけたら」と意気込みを語っています。



山本哲也(作曲)

3. 過去の委嘱作品を再演、次代へ名曲をつなぐ

本シリーズで誕生した作品を再演することもまた柱の一つ。今回は、もともとバンドネオン、サクソ、ピアノのために書かれた藪田翔一《祈りの情景》(2017年度委嘱作品)がオンド・マルトノ、ヴィオラ、ピアノという今回の編成のために編曲され、新たな命が吹き込まれます。

■出演者・作曲家 プロフィール



大矢 素子
おおや・もとこ
オンド・マルトノ

英国生まれ。東京藝術大学楽理科在学時、オンド・マルトノと出会う。パリ国立高等音楽院オンド・マルトノ科を最優秀（首席）で卒業後、博士号を取得（於東京藝術大学）。オペラシティ「B→C」シリーズ、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」への出演など、演奏・研究の両面から現代音楽への近接を図っている。現在東京藝術大学大学院非常勤講師。



安達 真理
あだち・まり
ヴィオラ

ソリスト、室内楽奏者として活躍する他、国内オーケストラへも客演首席奏者として多数出演。近年はクラシック音楽にとどまらず、現代音楽、そしてポップミュージックまでジャンルを問わず活躍の幅を拓けている。現在日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ客演首席奏者。2021年8月に『J.S.バッハ 組曲&パルティータ』をリリース。



松本 望
まつもと・のぞみ
ピアノ

東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業。リヨン国際室内楽コンクール及びマリア・カナルス国際音楽コンクールピアノトリオ部門で第1位受賞。一方Nコンの課題曲を手掛けるなど作曲と演奏の両分野で活動を展開。国立音楽大学、洗足学園音楽大学各非常勤講師、東京藝術大学伴奏助手。



山本 哲也
やまもと・てつや

作曲

国立音楽大学大学院修士課程修了後に渡仏、マルセイユ地方音楽院、リヨン国立高等音楽院修士課程を修了。Île de création 2018 優勝、第6回 A.ドヴォルザーク国際作曲コンクール第1位、日本現代音楽協会第27回現音作曲新人賞など、国内外のコンクールや作品公募において受賞・入選を重ねている。2021年10月ベルギーへ拠点を移す。



薮田 翔一
やぶた・しょういち

作曲

東京音楽大学大学院作曲科修了。第70回ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門優勝ほか国内外での優勝・入賞多数。作品は、欧州、アメリカ、アジアなど世界各国で演奏されている他、近年ではNHK交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪等からの委嘱作品が初演されるなど、今最も注目されている作曲家の一人である。